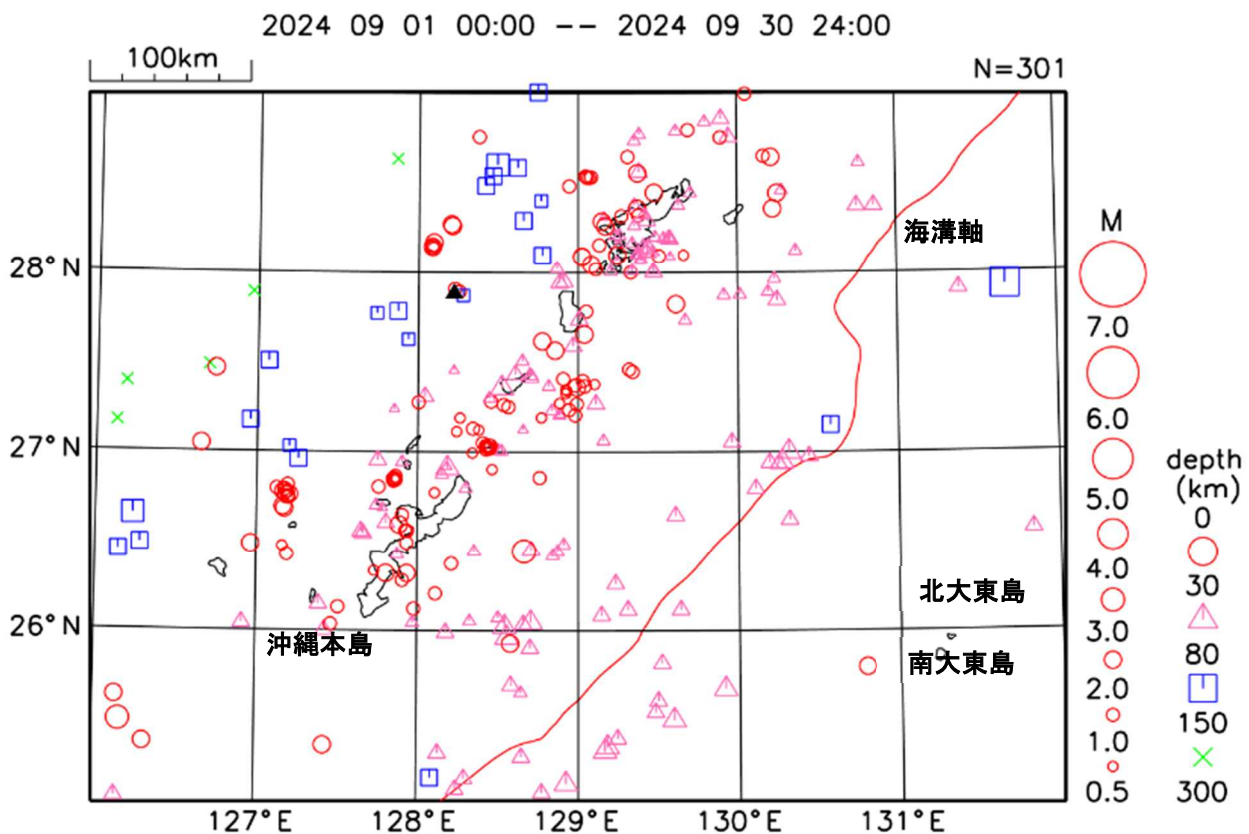


大東島地方の地震活動

令和6年（2024年）9月

南大東島地方気象台

大東島地方及びその周辺の震央分布図



図中の記号 M：マグニチュード depth：震源の深さ

N：地震回数（マグニチュード0.5以上の回数です）

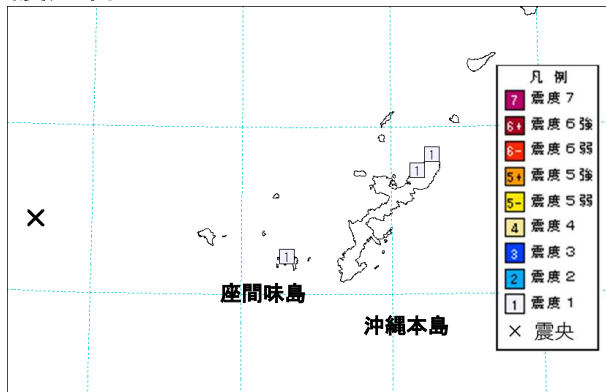
▲：活火山

大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。

[概況]

9月に大東島地方で震度1以上を観測した地震はありませんでした（8月は0回）。
なお、沖縄本島地方では1回（震央は上図の範囲外、次頁の震度分布図参照）観測しました（8月は3回）。

震度分布図



9月2日8時39分 沖縄本島北西沖 深さ 143km M4.7

大東島地方及び沖縄本島地方で震度1以上を観測した地震の表（期間：2024年9月1日～30日）

震源日時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2024年09月02日08時39分 沖縄県 震度 1：国頭村奥, 国頭村辺土名*, 座間味村座間味*	沖縄本島北西沖	26° 25.9' N	125° 37.8' E	143km	M4.7

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※沖縄県内の観測点を掲載しています。

※資料中のデータについて

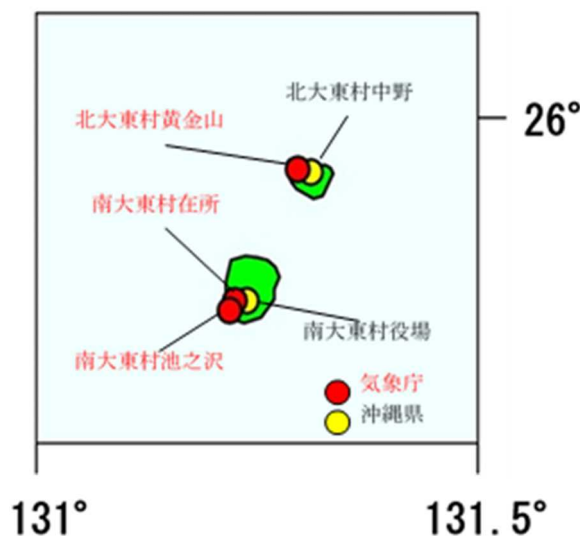
この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

※概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※データについては精査により、後日修正することがあります。

大東島地方の震度観測点



※ 過去の資料は南大東島地方気象台のホームページで閲覧できます。

URL : <https://www.data.jma.go.jp/daitou/shosai/kansoku/katudouzu.html>



※ 過去の沖縄地方（沖縄県）の地震活動については、沖縄気象台作成の「沖縄地方の地震活動」をご覧ください。

URL : <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/data/jishin/quake.html>



※ 震度1以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」をご覧ください。

URL : <https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html>



※ 防災一口メモ（沖縄気象台HP）

季節ごとに注意すべき自然現象や、防災情報の利活用方法について解説しています。

URL : <https://www.data.jma.go.jp/okinawa/know/memo/sougou.html>



本件に関するお問い合わせ先 南大東島地方気象台 09802-2-2006